

笑顔いっぱい！ 夢いっぱい！ イイねがいっぱい！ たくまばる」

託麻原小学校だより

No.5

# みどりの風

2nd  
シーズン

R6 (2024).9.2

文責：佐藤真司

## ひと しっぱい いの 「人の失敗は祈いたくない」

最高気温37℃が毎日……。雨も降らない……。

【危険な暑さ】という言葉がこれほど聞かれた夏休みは初めてかもしれません。

みなさん、充実した夏を過ごせたでしょうか。時折出会う子どもたちが元気にあいさつをしてくれてうれしく思いました。

さて、そんな暑い夏をもうひとつアツくさせてくれたのがスポーツでしたね。

フランスのパリで開催されたオリンピックでは、多くの日本代表選手が活躍しました。各選手の試合後のコメントも素敵でした。

「目標がちゃんとあれば、諦めることってないと思う」

——— 岡 慎之助選手（体操 個人・団体・種目別で4つのメダル）

「勝ち負けだけでは、自分がどれだけハードワークしてきたかを評価できません。そんな単純なことではないです。僕にはまだまだ、やるべきことがあります」

——— 張本 智和選手（卓球男子 団体4位）

どの選手も、これまでの厳しい練習や試練を乗り越えて来たからこそ発せられる言葉ですよ。そんな中、私の心に残ったのはこの言葉です。

けっしょう い ひと しっぱい いの  
「決勝に行きたいけど、人の失敗は祈いたくない」

こう語ったのは、スケートボード女子の四十住さくら選手です。

四十住さんは前回の東京オリンピックの金メダリストで、今回は連覇の期待もありました。しかし、パリでは予選第1組に出場し自分の滑りを終えた時点で4位。この後、他の選手が失敗すれば自分がメダルを獲得する可能性もある中で、インタビュアーの質問に対してこのように答えています。

四十住さんは東京オリンピックのあと大きなケガをして、復活して掴んだパリオリンピック代表でした。一つの技を成功させるために何度も転び、失敗を繰り返してきたからこそ、他のスケーターが競技に賭ける気持ちも理解できるのでしょうね。

決勝には進めず22人中10位という結果に終わった四十住さんでしたが、思い通りにならないことがあっても決して他人の不幸を喜ばない四十住さんの姿勢に学びたいと思います。

台風の休校からスタートした2学期でしたが、暑い夏を乗り切ってパワーアップしたこどもたちが、元気いっぱい、笑顔いっぱいで過ごしてくれることを期待しています！

保護者のみなさま、地域のみなさま、2学期もよろしくお願いたします

